



彼の名はウォルター

エミリー・ロッダ/著

さくま ゆみこ/訳

あすなろ書房 (分類933㉟)

遠足のバスが故障した上に嵐が来て、コリン達4人の生徒と先生は、不気味な洋館で一夜を過ごすことになりました。

キッチンで偶然見つけた「彼の名はウォルター」という手書きの本を読み進めると、奇妙な現象が次々と起こります。この本は、誰が何のために書いたのか、明らかにされる衝撃の真実!



かぞえきれない星の、 その次の星

重松 清/作

KADOKAWA (分類913㉟)

ずるくて、卑怯で臆病だったきみ。

でも『きみはまだ間に合うんだ。』

迷う星、責める星、許す星…。夜空の星も人の心と同様にさまざまです。星のかけらから掘り出した「さみしさ」で作られた11編のおはなし。

未知の感染症、虐待、イジメ…。

心に響くおはなしを見つけてください。



歩きながら はじまること

西尾 勝彦/著

七月堂 (分類911㉟)

少し小さめの素朴でシンプルなこの本は、詩集です。ページを開くと、森で深呼吸をするような、とても静かな時間が流れています。柔らかな言葉で書かれた何気ない日常に、クスッと笑ったり、ハッとしたりします。

読んだ人を優しい気持ちにしてくれる、そんな空気感に包まれて、ほっこりしてみませんか。



ロンドン・アイの謎

シヴォーン・ダウト/著

越前 敏弥/訳

東京創元社 (分類933㉟)

観覧車のカプセルから

サリムは降りてこなかった。

一体どこに消えたのか。

人の気持ちを理解するのは苦手、事実について考えるのは得意な少年テッドが、いとこのサリムを探す長編ミステリ。ヒントはすべて本文に! あなたも謎解きに挑戦してみませんか?



ななみの海

朝比奈 あすか/著

双葉社 (分類9137㉟)

児童養護施設で暮らすななみは、医学部進学を目指し勉強に励む日々。将来の不安、人間関係の悩み、周囲への反発、自分の行動に対する後悔。本当に自分がやりたいことは何なのか。

厳しい現実と向き合い、何度も立ち止まり、葛藤しながら自らが進む道を見つけてゆく、そんな彼女の姿が心に迫ってくる物語です。

BOOK DOOR (ブックドア)

—学校司書のおすすめ本— vol.5

発行：枚方市立中央図書館

発行年月：令和5(2023)年10月

BOOK

DOOR

vol.5

学校司書のおすすめ本



マスク越しの おはよう

山本 悦子/著 田中 海帆/絵

講談社 (分類9137㉟)

中学生たちが経験したコロナ禍を、マスクをキーワードに友人や家族との距離のとり方・関わり方を描いた5つの連作短編集。

コロナ禍前からマスクが手放せなかった生徒、自作の布マスクをする生徒、マスクではなくフェイスシールドをつける生徒、家族が感染して自宅待機中の生徒などが描かれています。



カレーの時間

寺地 はるな/著

実業之日本社 (分類9137㉟)

義景は、性差別発言もはばからない昔気質の頑固者。男手ひとつで育てた3人の娘や孫娘たちにも愛想をつかされています。唯一の孫息子、桐矢が作るカレーを食べる時だけが和やかな時間。

様々な人間模様を煮込みスパイスを効かせた極上の一品をご賞味あれ。



成瀬は天下を 取りに行く

宮島 未奈/著

新潮社 (分類913㉟)

成瀬あかりは、地元放送局がデパートの閉店まで毎日中継することを知り、「十四歳の夏を西武に捧げる」と幼なじみに宣言します。成瀬は野球のユニホーム姿で毎日テレビに映り、SNS の話題になります。

思わず吹き出す場面が満載、地元への愛があふれる物語です。



モノガタリは 終わらない

モノガタリプロジェクト/編

集英社 (分類913)

古民家の天井裏から見つかった元住人の婦人用腕時計にまつわる話など、モノをテーマにした21の短編集です。他の人にとってはガラクタでも、本人にとっては大切なものだったりします。

あなたにとってのモノとの思い出はなんですか?



シリアからきたバレリーナ

キャサリン・ブルートン/作

平澤 朋子/絵

偕成社 (分類9337㉟)

内戦のため故郷シリアを脱出し、難民としてイギリスにきたアーヤ。母と弟と共に先の見えない不安な日々を送っていました。ある日、大好きだったバレエに再び出会ったことから少しずつ希望を取り戻していきます。

家族との絆を胸に夢を追う小さなバレリーナの物語です。



13歳からの アート思考

末永 幸歩/著
ダイヤモンド社 (分類141)

この本を開くと授業が始まります。教科は美術ですが、鑑賞の方法や解説ではありません。作品に対して「自分だけのものの見方・考え方」をし、「自分なりの答え」を出し、「自分で新たな問い」を見つけるという【アート思考】のレッスンです。まずお試してモネの『睡蓮』から始めましょう。



わたしが障害者じゃ なくなる日

海老原 宏美/著
旬報社 (分類369)

駅の階段や歩道の段差、街には様々なバリア(障壁)があり、人工呼吸器をつけ、車いすに乗る海老原さんの行動を制限します。「障害があっても、地域の中で暮らしたい」と言う彼女のメッセージをたどりながら、これからの社会モデルについて考えてみませんか？



不便益のススメ

川上 浩司/作
岩波書店 (分類501)

あなたは京都観光に行くとしたら。京都駅から目的地までスマホの道案内アプリを使えば便利です。でも、スマホの画面ばかり見て歩くので途中の観光もできないし、目的地までの道順も覚えられません。自分で道順を調べて歩くのは不便ですが、観光できて楽しい記憶が残ります。これって、不便だけど得(益)してますよね。



ブルーノ
Fukase/作
福音館書店 (分類E7)

王様を信じたかったタルカスト、
国民を助けたかった王様
両サイドの表紙それぞれから始まるふたつの物語。SEKAI NO OWARIのボーカリストFukaseが描く油絵の具のカラフルで独特な絵、ファンタジックで普遍的な物語にぜひ、ふれてみてください。



ミライの武器

吉藤 オリィ/著
サンクチュアリ出版 (分類159)

小学5年生から不登校で「友達はロボットでいい」と思っていた著者は、高専に入学して人との交流の大切さに気付きました。そして、寝たきりでも社会とつながれる「分身ロボットカフェ」の仕組みをALSの仲間と共に誕生させます。「できない」を「できる」に変える武器をあなたも見つけてみませんか。

BOOK

BOOK DOOR ~ 学校司書のおすすめ本 ~ vol.5

秋の読書週間(10/27~11/9)に、今年も BOOK DOOR をお届けします。中学校の司書19人が、みなさんに今読んでほしい本を選びました。学校図書館でぜひ「あなたのイチオシ本」を見つけてください。新しい本の扉を開いて、みなさんの世界がもっと豊かに広がりますように。

DOOR



たまごのはなし
しおたに まみこ/作
ブロンズ新社 (分類E7)

~眠りから覚めたたまごが動きだす~
「動くって素敵なんだ」とみんなに教えてあげよう。たまごはがんばります。でも、動こうとしない仲間には悪態をついたり、ちっとも起きないマシュマロをかじって起こしたりと奇想天外な行動ばかり。鉛筆で描かれたシュールな作画にも注目!



なぜ私たちは 理系を選んだのか

榎 太一/著
岩波書店 (分類281)

大学でアサリの研究をしていた理系キャスターの榎さんが、同じように理系分野を学び、各界で活躍する人にインタビュー。宇宙飛行士、水族館職員、YouTuber、小説家、テーマパーク職員、イルカ・クジラの研究者、アスリートの7人です。理系から広がる世界をのぞいてみませんか。



宇宙兄弟といっしょに 学ぶ宇宙図鑑

モーニング編集部他/監修
講談社 (分類440)

コミック『宇宙兄弟』の南波兄弟と宇宙飛行士の仲間たちが、星のことだけでなく、人工衛星やロケット、宇宙ステーション、宇宙服、望遠鏡など「宇宙」をテーマに写真やイラストで詳しく紹介します。近い将来に予定されている「宇宙エレベーター」や「月面基地」についての情報も必見です。



棒人間図解大全

MICANO/著
自由国民社 (分類726)

棒と丸、それだけで構成されるのが棒人間。絵が苦手でもこれなら描ける人も多いはず。されど侮るなかれ! 意外と表情(無いけど)豊かで、少しの工夫で見違える程のポテンシャルを発揮するのが棒人間の魅力。ノートや手紙、メモの隅にそんな彼らを息づかせてみませんか?

20冊目にあなたのイチオシ本を書いて、このブックリストを完成させてください。